



消防力を強化!

高機能消防指令センター 新はしご車運用開始

市消防局では、4月1日から高機能消防指令センターの運用を開始し、3月には南消防署に30m級先端屈折式はしご車を配備しました。今回は、新設備や市消防局の取り組みについて紹介します。

◎問い合わせ 消防局指令課 ☎23-2125 警防救急課 ☎22-8883

高機能消防指令センターとは
多様化する災害や、急増する救急要請に迅速に対応するため、最新のデジタル技術を集結した「高機能消防指令センター」。119番通報から消防隊到着までの「空白の時間」を短縮し、市民の皆さまの命と暮らしを強力にバックアップします。

3つの安心ポイント

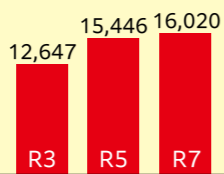
- ▼スマホの映像で現場を「可視化」
通報者のスマートフォンカメラと同センターがつながる「映像伝送システム」を導入
- ▼位置情報特定の向上
最新の「統合型位置情報システム」により、見知らぬ土地や山間部、住所不明の通報でもスマートフォンGPS情報から場所を特定します
- ▼最速部隊を自動選別
全ての車両の位置と活動状況を取りアルタイムで把握。現場に「1秒でも早く着ける車両」を瞬時に判断し、出動指令をかけます

新はしご車の導入
3月17日、南消防署に30m級先端屈折式はしご車を配備しました。はしごの先端を屈折させることができ、建物の屋上や奥まった場所への進入、障害物を避けての進入が可能です。また、はしごにリフター（昇降装置）を搭載して、火災などで建物の高所に取り残された人をより安全で迅速に救助できるようになりました。

車体の両側面には、金御岳が見ることができ、サイバゲデザインされています。



多様な通報体制の整備
令和7年中の119番受信件数は1万6020件で年々増加しています。多様化する災害などに対応するため、ITを活用した119番通報の受け付けや、災害現場の映像伝送システムなどを利用した迅速な情報収集に取り組み、消防活動をより迅速かつ確実に実施できる体制を整えています。音声によらない通報手段のNet119やFAX119などにも対応して、誰もが通報しやすい「通報のバリアフリー化」を推進しています。



119番受信件数 (件)



南消防署に配備した30m級先端屈折式はしご車

作成しています!

都城市 文化財保存活用地域計画

本市には、古くから伝わる祭りや建物、豊かな自然、そして代々受け継がれてきた知恵や技術など、多くの宝(文化財)があります。市では現在、これらを地域全体で大切に守り、次世代へ引き継いでいくために本計画を作成しています。今回は、目的や対象など本計画の概要について紹介します。

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547



関の尾の窟穴(国指定天然記念物)

何のために作成するの?

本計画は、文化財保護法に基づく法定計画です。未指定の文化財も含めて地域の大切な財産として捉え、地域の活性化やまちづくりなどに活用するための行動計画(アクションプラン)を定めることで、持続的に保存・継承できる体制づくりを目指します。

対象となる地域資源とは?

未指定の身近なものも含めた有形・無形の文化財。例えば次のようなものが対象です。

- ・ 寺社などの建造物
- ・ 絵画、彫刻などの美術工芸品
- ・ 古文書などの歴史資料や遺跡から出土する考古資料
- ・ 熊襲踊や弥五郎どんまつりなどの民俗芸能や伝統行事
- ・ 農業や漁業、畜産などで使用された道具
- ・ 関の尾の窟穴やヤッコソウ
- ・ 城跡・古墳
- ・ 里山や棚田、用水路
- ・ 石垣や石蔵
- ・ 方言・郷土料理



【谷川】田の神(市指定有形文化財)



青花磁器瓶一对(市指定有形文化財)

どのように作成するの?

計画の作成に当たっては、各地区で開催するワークショップやアンケート調査などを通じて、市民の皆さんや文化財所有者・管理者などの関係者の意見を聞きながら検討を進めます。



完成したらどうなる?

●保存と活用の継続

さまざまな文化財が計画に盛り込まれることで、適切な保存や活用、次世代への継承につながります。

●協働体制の構築

文化財の所有者・管理者や地域、行政が一体となり、地域資源を守り、生かしていくための組織的な仕組みができます。

●具体的な課題解決

担い手不足などの課題に対し、作成した行動計画に基づき取り組みを進めることが可能になります。

完成時期は?

令和9年度末までに完成予定。令和10年度に国の認定を受ける予定です。



紺糸威紫白肩裾胴丸(重要文化財)

文化財を活用して地域活性化

市内にはさまざまな分野の文化財があり、中には把握されていないことで活用機会を逃している可能性があります。本計画を作成することで、地域資源の一つとして文化財を保存しながら活用し、さらなる地域活性化につながることを期待します。



文化財課 主査 田中 滉太郎さん